

2026 年 1 月 8 日

活動報告書（10～12 月）

プロジェクト名：Template

作成者：田中慶一朗

1. 当期の目標

Template では今後の活動に向け、以下の 2 点を当期目標として活動を行なった。

- ・ 昨年 9 月に実施した「夜寺怪談」の振り返りを行うとともに今後の活動の方向性を考える
- ・ 新しい活動に向けて必要なものを準備する

2. 活動内容とその成果

- ・ アンケート調査（クローバー祭）の実施

クローバー祭の来場者に対して、お寺に関する基礎調査と今後の活動に向けて「住職さんへのお悩み相談」に対する調査を行なった。

回答者の属性として 10 代が半数以上を占めるなどあくまで結果は参考程度となる。その上でお寺を「観光地・文化財」と捉えている人が 43%、「心を落ち着ける場所」と回答した人が 36%であった（複数回答可）。また 70%の人が近年、「地方寺院の減少」や「後継者不足」が問題とされているお寺の流れについて「寺院は守るべきものであり、存続に向けた努力が必要。」と回答している一方で、今後お寺と「積極的に関わりたい」と回答した人は 19%にとどまった。さらに「住職さんへのお悩み相談」に関する質問では 55%の人が何かしらの悩みを抱えていると回答した一方で、お坊さんに悩み相談をしてみたいと回答した人は 35%にとどまった。

このアンケート調査に基づいて、「住職さんへのお悩み相談」は断念し、別の方向性で常設のイベントや取り組みを模索することとした。

- ・ 株式会社玄武管財様への訪問

昨年 9 月に実施した「夜寺怪談」にご来場いただき、お声がけいただいた株式会社玄武管財様（京都市上京区）へ伺い、私たちの活動や同社の取り組みについてお話を伺った。同社は相国寺をはじめとする寺院の借地管理に取り組まれており、寺院問題に関する専門家である。同社に伺い、このような寺院問題が実は明治時代から叫ばれている問題であることや京都市内各地の寺院でフェスなどの様々な取り組みが行われていることを知ることができた。その後、相国寺の特別拝観をご案内いただき、寺院の魅力について再確認するとともに、その潜在性をひしひしと感ずることができた。

その後も私たちの壁打ちにお付き合いいただくなど定期的な交流を持たせていただいております、その中で新しい取り組みについて需要の有無を考えすぎないほうがいいこ

とや京都市内の仏教系大学（龍谷大や大谷大、佛教大など）の学生団体の共創も視野に入れてもいいのではというアドバイスをいただいた。



（写真は 2025 年 10 月 8 日、京都市上京区の相国寺にて株式会社玄武管財・安井様と撮影）

3. 今後の活動予定

- ・寺院の方や文化活動をされている方を招いた Podcast の開始

寺院で常設のイベントを実施するには長年のお付き合いとそれによる信頼関係の構築が必須であるというお話をいただいた。それを踏まえて私たちが継続的に実施できるのは情報発信であると考え、Podcast による寺院や文化の活動発信を検討した。

Podcast では住職さんの説話はもちろんのこと、寺院の現状や取り組みなどを発信していく予定で、今年度中はその準備に取り掛かりたいと考えている。

さらに来年度以降の活動に向けて Podcast を本格化し、計画を立てて活動していくとともに、寺院関係者の方々との信頼関係の構築にも引き続き取り組んでいきたい。